

## ■FL-Bクラス

中西の予選での速さが光るも、  
やっぱり最後は青木でキマリ!

今回注目に値するのは、何とんでも中西克良のポール獲得だろう。常勝青木健一郎はタイム計測前の走行中にエンジンが焼きつき、ノータイムで最後尾スタート。そして前田照文もブレーキ、クラッチともにトラブルに陥り、1分を切れずにセカンドポジションだ。とはいえ、中西のポールは決して棚ボタではなく、他のクラスのポールタイムが気温の上昇で前回よりも落ち込んだのに対して、中西のタイムは59秒37と、前回青木のマークしたポールタイムを上回っているのだから、堂々のポールシッターと言っていいだろう。

しかし決勝、中西はスタートをミス! そして

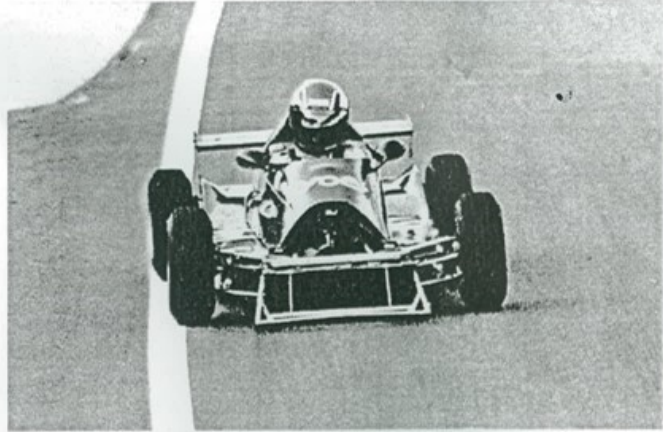
その横をロケットスタートの青木がかすめていく。第1コーナーでは同じく好スタートを決めた前田がトップで青木の前。中西-岡元克弘が続いていた。

4周目の最終コーナー進入でアウトから、立ち上がり重視のラインを取った青木は、続く第1コーナーで前田のインを刺し、トップへ。こうなるとは誰も青木の独走を止めることのできる者はおらず、余裕のチェッカー。2位にもいつもの前田が入り、注目された中西は6周目のくの字コーナーで岡本と接触しピットイン。以後フロントカウルを外しての苦しい走行となり、4位でゴールに。「エンジンが全く伸びない」と言いながらも、またもや優勝の青木。果たして連勝はいつまで続くのだろうか……。

▼前田照文がFL-Bのオープニングリーダー



▼ポールの中西克典はカウルを飛ばしてしまい4位に



▼最後尾スタートなど何の問題もないかのように、やはりビクトリーラップは青木健一郎のためにあった

